

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月15日（月）

2 確認箇所

- ・地下水バイパス一時貯留タンクエリア
- ・サブドレン一時貯水タンクエリア 他

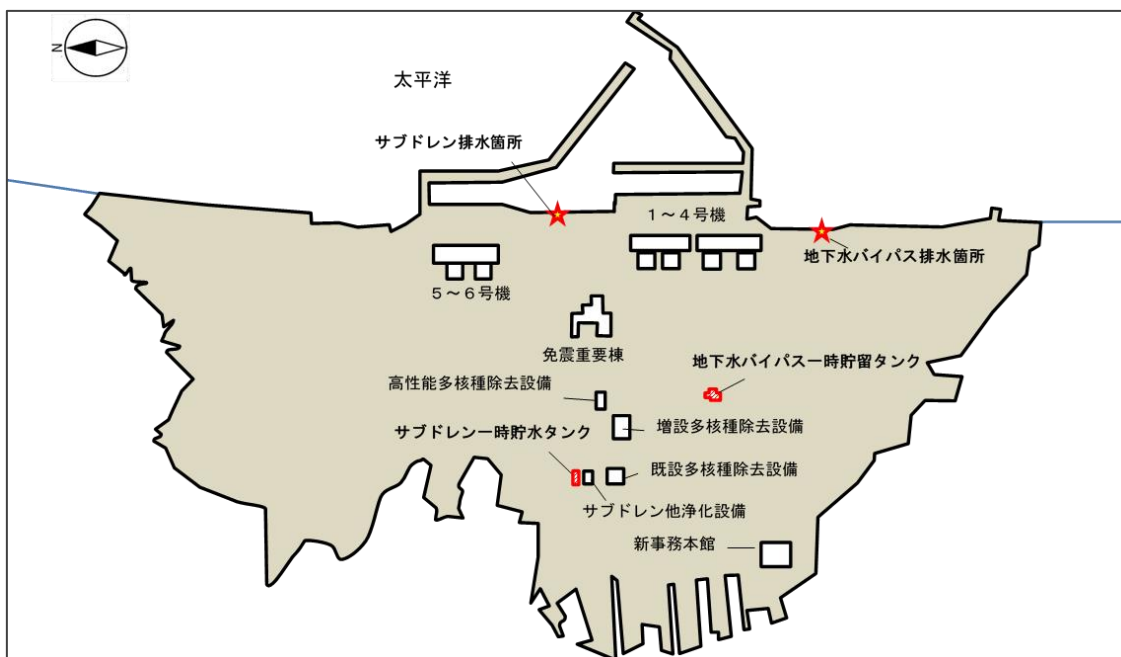
3 確認項目

- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減するため、地下水バイパスやサブドレン他水処理設備などの施設を設置し、運用目標に適合した水質の地下水を定期的に海洋へ排水している。（図1）

今回、地下水バイパス一時貯留タンク及びサブドレン一時貯水タンクから排水が予定されていたことから状況を確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況について

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられており、今回はグループ3から排水が行われた。

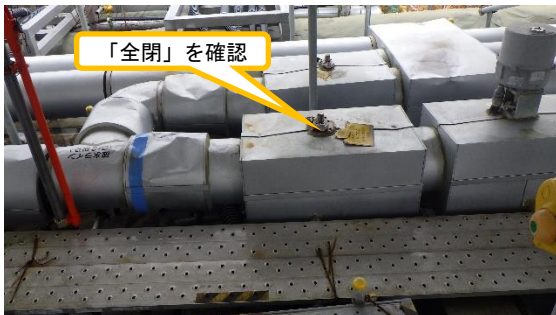
(写真1)

- ・東京電力社員が所定の手順に沿って排水を行った。
- ・排水を行わないグループ1及び2の排水弁が「全閉」となっていることを目視確認した後、グループ3の排水弁を開放した。(写真2)
- ・排水弁開放後、スマートフォンを用いたビデオ通話により、免震重要棟集中監視室側でも排水弁の開放を確認した後に排水操作が行われた。
- ・排水開始後、施設に異常は確認されなかった。
- ・一部の地下水バイパス一時貯留タンクについては、タンクフランジ部の修繕や最下段の側板の塗装が行われていた。(写真3)



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンク
エリアの外観 (北東側から撮影)



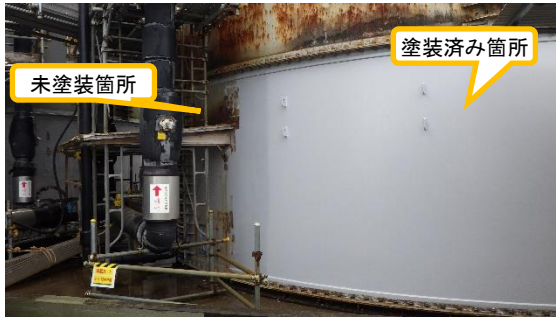
(写真2-1)

排水しないグループ1及び2の
排水弁が「全閉」であることを確認
(写真はグループ2の排水弁)



(写真2-2)

グループ3の排水弁を開放



(写真3-1)
側板の塗装が行われていた
タンク



(写真3-2)
修繕されたタンクフランジ部の状況

(2) サブドレン処理水の排水状況について

サブドレン一時貯水タンクは全11基からなり、今回はこのうち1基（タンク（B））から排水が行われた。（写真4）

- ・排水の手順は地下水バイパス一時貯留タンクの排水と同様であり、排水予定のタンク（B）以外の排水弁の「全閉」を確認した後にタンク（B）の排水弁が開放された。（写真5）
- ・排水弁開放後、スマートフォンを用いたビデオ通話により、免震重要棟集中監視室側でも排水弁の開放を確認した後に排水操作が行われた。（写真6）
- ・排水開始後、施設に異常は確認されなかった。



(写真4)
サブドレン一時貯水タンクエリアの
外観（南東側から撮影）



(写真5)
タンク (B) の排水弁開放状況



(写真6-1)
スマートフォンを用いた排水弁の
確認状況



(写真6-2)
サブドレン処理水排水口の状況
(異常は確認されなかった。)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。